

C-70 原型の人間工学的研究(第2報)
一袖の平面展開と運動量の分析一

名古屋市立女短大	高橋 春子
鶯谷女子高	和田恵美子
愛知大短大	○岡 通子
名古屋市立女短大	富田 和子

1. 袖の原型は他の部分と同じく身体に適合し、機能面をも充足させるものでなければならない。袖の原型に関してもいろいろの角度から研究されているが、より適切なものを得るために上肢の shell (人体模型) を平面展開し、さらに上肢の各動作時の皮膚面の伸縮状態を把握し、作図における理論的裏づけの一助としたい。

2. 被験者に上肢を $0^\circ, 45^\circ, 90^\circ, 135^\circ, 180^\circ$ 側挙動作および水平動作をさせ、各動作時における上肢の皮膚面の長径、幅径を計測し皮膚の動きを観察する。さらに各動作時の shell を作製し、それを平面に展開し両者を比較検討する。

3. 長径については、上肢を側挙するに伴い腕上部は収縮し、腕下部は伸張する。長径の収縮がみられる部分は幅径が伸展し、長径の伸張部位は幅径が収縮する傾向がみられる。また上肢の shell 展開により袖山の高さ、袖つけ位置の曲線の形態、および体型による袖山のいせ分量などを把握することが出来た。